

日本外国語教育推進機構（JACTFL）第13回シンポジウム
2025年3月9日

日韓高校生交流の現状と課題 — 広島県立海田高等学校の姉妹校交流を中心に —

広島県立海田高等学校
外国語科 教諭 新長 太
(sfutoskis@gmail.com)

* 本発表の詳細は『複言語・多言語教育研究』 No.12 (2024) に実践報告として掲載予定

1 広島県立海田高等学校

- 創立82年 県内有数の伝統校
- 全日制普通科・家政科
- 広島市に隣接
- 第26回広島ユネスコ活動奨励賞
受賞【学校部門】 2024年3月3日

広島ユネスコ活動奨励賞

- 日本の伝統衣装の復元
- 広島県歴史博物館への寄贈
- 海田さつまの素（ごま鯛みそ）の開発
- “届けよう、服のチカラ”プロジェクト参加
- 募金活動（日本ユニセフ協会）
校内・校外【カプセルトイ】（バイオカプセル）
- SDGs 委員会：令和4（2022）年発足
- コリア文化同好会：令和2（2020）年発足

2 韓国姉妹校について

○明德女子高等学校（ミョンドンク）

【ソウル市・私立女子高】

平成24（2012）年5月9日

○桃林高等学校（ドリム）

【仁川市・公立男子校】

平成30（2018）年2月20日

2.1 明德女子高等学校との交流

- 平成24（2012）年9月：19名が来校
【ホームステイ】
 - 平成25（2013）年5月：15名が訪問
【ホームステイ】
 - 平成29（2017）年まで相互訪問交流
【女子のみの訪問】
- * 現在は、諸事情により中断 再開?

2.2 桃林高等学校との交流

○平成30（2018）年9月：9名が来校

【ホームステイなし（豪雨災害）】

○令和元（2019）年7月：6名が訪問

【ホームステイ】

○令和7（2025）年現在、相互訪問交流中

【海田高等学校の男子と女子の訪問】

* 令和7（2025）年5月に来校予定

2.2 桃林高等学校との交流

- オンライン交流（コロナ禍）
 - ①家政科の韓国語授業での交流（授業）
 - ②コリア文化同好会との交流（放課後）
- 令和5（2023）年7月：相互訪問再開
海田高校の生徒が訪問（女子24名）
- オンライン交流の終了（相互訪問再開後）

2.2 桃林高等学校との交流

- オンライン交流：家政科の韓国語授業時間
質問内容の抜粋（海田高校は約50名参加）
- What do you usually do in your free time?
- How many hours do you spend on social media on weekdays and weekends?
- What do you want to be in the future?
- Where do you want to go when you visit Japan/Korea? And why?
- What do you want to do when you visit Japan/Korea? And why?

2.2 桃林高等学校との交流

- オンライン交流（コロナ禍）
 - ①家政科の韓国語授業での交流（授業）
 - ② 코리아文化同好会との交流（放課後）

- 令和5（2023）年7月：相互訪問再開
海田高校の生徒が訪問（女子24名）

3 第二外国語としての韓国語授業

- 平成26（2014）年度から実施
- 家政科の2年次の選択必修科目
- 1時間（50分）の授業を週2回行う授業形態
- 非常勤講師1名体制
- 令和6（2024）年までの11年間の履修者
総数【105名(女子104名、男子1名)】

表1 韓国語履修者数の推移（単位：名）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	総数
10	12	10	14	5	5	14	3	12	14	6	105

3 第二外国語としての韓国語授業

使用教材および評価等

- 『おっ、ハングル 韓国語入門テキスト』 * 実習等あり
(鄭賢熙・チョヒチョル著 駿河台出版2020)
- 定期試験: 年間3回 (1学期期末、2学期期末、学年末)
- 評価指標: 外国語 (英語) 科と同じ指標 (全校統一)
- 知識・技能: 思考・判断・表現: 主体的に学習に取り組む態度 (割合は 2:2:1)
- 異文化理解: 広島県国際課の国際交流員派遣事業参加

4 桃林高校訪問プログラム 参加生徒の感想及び分析

○令和5（2023）年度

参加生徒 24名（女子24名）

○令和6（2024）年度

参加生徒 21名（男子2名、女子19名）

先行研究

○日韓高校生交流事業（2022）
報告書を基に、既存の調査項目
に対して筆者が事後アンケート
では調査項目を2つ追加

アンケート調査の実施

○形態：事前および事後アンケート調査
(Google Forms)

○目的：日本人の【外向き志向】の変容を
10段階尺度で明らかにする

アンケートの10段階尺度の例

9. 私は、日本人として世界に貢献したい。*

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
全く思わない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	非常にそう思う

【外向き志向とは】

【私は】

- 交流した外国の人と将来も繋がりをもちたい。
- 外国の人との交流を通して自分の可能性を広げたい。
- 日本人として世界に貢献したい。

調査項目の一部抜粋

【私は】

- 1 韓国の友人と韓国の高校の授業を受けたい。（*事後のみで実施）
 - 2 韓国でホームステイをしたい。（*事後のみで実施）
 - 3 初めてのことに挑戦したい。
 - 4 社会や人のためになる仕事をしたい。
 - 5 英語を使ったコミュニケーション能力を向上させたい。
 - 6 韓国語を使ったコミュニケーション能力を向上させたい。
- 7 交流した外国人の人と将来も繋がりを持ちたい。
 - 8 外国の人との交流を通して自分の可能性を広げたい。 【外向き志向】
 - 9 日本人として世界に貢献したい。
- 10 【自由記述】 ①印象に残ったこと②学んだこと③明日から取り組みたいこと

5 アンケート結果

○参加者21名中、有効回答の19名を分析

①外向き志向率は、約88%（3項目の平均）

「日本人として世界に貢献したい」16名（84%）

「外国の人との交流を通して自分の可能性を広げたい」18名（95%）

「交流した韓国人と将来も繋がりを持ちたい」16名（84%）

②対面交流の重要性（オンライン交流との比較）

「韓国の友人と韓国の高校の授業を受けたい」16名（84%）

「韓国でホームステイをしたい」15名（79%）

5 アンケート結果

○参加者21名中、有効回答の19名を分析

③【自由記述】

①印象に残ったこと

「人が優しく人間性を感じる」「韓服試着体験」等

②学んだこと

「日韓の昔からの繋がり」「言葉は通じなくても伝えようとする事」
「翻訳機に頼りすぎない人間同士のコミュニケーション」
「コミュニケーションを図ろうとする意欲」等

③明日から取り組みたいこと

「英語の授業を大切にする」
「韓国の友人と韓国語で話すための韓国語の勉強」等

6 課題

- ①全国公募の日韓高校生交流プログラムの開発
【日本の文部科学省や韓国の教育部等の公的機関が協働し実施する、持続可能な形態】
- ②日韓高校生が議論可能なプラットフォームの構築
【議題：SDGsやGCEDの諸課題等】
- ③日韓の高等学校同士で姉妹校提携の増加
【日韓高校生交流の加速化】

引用文献

国際交流基金（2020）<<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2020/korea.html>>（2024年12月1日閲覧）。

鄭賢熙・チョヒチョル（2020），『おっ、ハングル 韓国語入門テキスト』，駿河台出版。

独立行政法人国立青少年教育振興機構（2023），令和4年度日韓高校生交流事業事業報告書，令和4(2022)年度 文部科学省委託事業。

文部科学省（2024），独立行政法人国立青少年教育振興機構の令和5年度における業務の実績に関する評価．<https://www.mext.go.jp/content/20240827-mxt_chisui02-100000113_1.pdf>（2024年12月1日閲覧）。

謝辞：本稿で実施した、姉妹校交流の事前および事後アンケート調査実施にご協力いただいた海田高等学校の生徒のみなさんとコリア文化同好会の生徒のみなさんに感謝申し上げます。また、アンケートの調査項目の精選では、駐日韓国文化院世宗学堂の鄭賢熙先生から貴重なご助言をいただきました。厚く御礼を申し上げます。